

「香りとさえずりの杜 コミュニティガーデンづくり」

植花会式辞

本日は「香りとさえずりの杜 コミュニティガーデンづくり」植花会にお招きいただき、誠にありがとうございます。この度の植樹・植花をお祝いし、一言御挨拶申し上げます。

本年は、我が国は北海道洞爺湖サミットの議長国として環境問題を最重要課題の一つとして政府を挙げて積極的に取り組んでいくこととしております。このような中で、稚内市では、これまで地域特有の強い風を活用した日本最大級規模の風力発電による事業を行っている他、世界最大級の太陽光発電施設の実証研究にも積極的に取り組まれております。自然エネルギーを用いた持続可能な社会作りに先進的に取り組まれ、地球環境の保全に向けた精力的な取組がなされておりますことに対し、心より敬意を表するものであります。

さて、環境省が主催しております「みどり香るまちづくり企画コンテスト」は今回で第2回目のコンテストであり、「稚内市歴史・まち研究会」及び「稚内市^{けいほく}恵北・^{ますほろ}増幌地区まちづくり委員会」の皆様方から「香りとさえずりの杜コミュニティガーデンづくり」の企画をいただきました。本企画は55年間放置されていた旧海軍通信所の周辺に「香りの樹木」や「実のなる樹木」などを植栽し、歴史的建

建築物の保存を図りながら野鳥と人との共生の場に再生するもの
あります。この他、地域にお住まいの方々も参加されて管理が行われ
るなど地域活性化に資するものでもあり、環境省の選定委員会にお
いても高く評価され、「環境大臣賞」を授与することとなりました。

また、環境省からは、社団法人日本アロマ環境協会の協力を得て、
副賞として、エゾヤマザクラ、ラベンダーなどの企画で使用される
苗木・苗 850 本をご提供させていただいたところです。

今後、地域の皆様方のお力により「コミュニティガーデン」が着
実に成長し、数年後には「みどり香る憩いの場」となることを心よ
り祈念いたしまして、簡単ではございますが、私のご挨拶とさせて
いただきます。

平成 20 年 6 月 7 日

環境省 水・大気環境局 大気生活環境室長

志々目友博